■クラウドUTM仕様書

・例示品　Allied SecureWAN 1000

・サービス要件

- クラウド型でUTM機能とインターネット接続機能を提供できること。

- サービスメニューとして、500Mbpsまたは1/2/3/5Gbpsベストエフォート等の

収容スペックを選べること。

- 年間契約を基本とし、契約変更によりサービスメニューを変更できること。

- サービス基盤は24時間365日で監視され、アラート時は即時対応を開始して

運用維持されること。

- 複数拠点をクラウドUTMで収容できること。

- オプションによりUTMのセキュリティ監視が付帯できること。

・UTM 機能要件

　- アンチウイルス、IPS、アンチスパム、Webコンテンツフィルタに対応していること。

　- アプリケーション制御、DLP（情報漏洩対策）、WebProxyServer機能に対応してい

ること

　- アンチウイルスはシグネチャデータベースを複数から選択可能なこと。

　- アンチウイルスはプロキシモードとフローベースモード(Full/Quick)の方式に

対応可能なこと。

　- アンチウイルスはヒューリスティック検査に対応していること。

　- アンチスパムはSMTP/POP3/IMAP4に対応可能なこと。

　- SSL-VPN機能が搭載されていること。

　- SSL-VPNはトンネルとWebリバースプロキシ接続に対応可能なこと。

　- SSL通信に対してもセキュリティ検査が可能なこと。（複合化し検査後に再暗号化

する機能）

　- 約1年間(8TB)相当のログ保管機能を有すること。

・UTM 管理要件

　- WebUIから設定管理が可能なこと。

　- WebUIは日本語に対応可能なこと。

　- WebUIで通信の可視化が可能なこと。